

香西理子先生を囲む会の歩み



2002  
退官記念



2009  
演奏会



2012  
喜寿お祝い演奏会



2013  
例会

2014  
例会



演奏会



2015  
例会



2016  
傘寿お祝い演奏会



例会

2017  
例会



2018  
演奏会



2019  
例会



2020  
例会



2021  
ミニコンサート



2022  
米寿お祝い演奏会



2023  
例会



2024  
例会



香西理子先生プロフィール

1935年東京生まれ。4才よりヴァイオリンを小野アンナ女史に師事。1948年第2回全日本学生音楽コンクール東京大会中学校の部第2位。1950年第19回日本音楽コンクール第1位。

1951年初リサイタル開催。以降N響とチャイコフスキー、東響とベートーヴェンやシベリウスの協奏曲を協演。桐朋学園音楽部門第1期生。

1955年フルブライト交換留学生として渡米。ミシシッピ大助手を経てジュリアード音楽院にてイヴァン・ガラミアン氏に師事。室内楽をジュリアードカルテットのクラウス・アダム氏他に学ぶ。留学中バークシャ音楽祭のスカラシップを得、ボストン響のオイゲンレーナー氏やシャルルミュンシュ氏の薫陶を受ける。

1959年京都に移りリサイタル、コンチェルト、室内楽で精力的に活動する一方、京都市立芸術大学、相愛大学、京都市立堀川高校音楽科、同志社女子大学、くらしき作陽大学にて指導にあたる。1999年、第18回藤堂音楽賞、2014年、平成25年度京都市芸術振興賞受賞。現在、くらしき作陽大学名誉教授。